

# 士別！くらしねっと情報第331号

## 交通安全情報 67 (平成29年12月20日号)

### もうすぐ冬休み！

12月23日から市内小中学校が冬休みに入ります。  
子どもたちの活動もそれぞれとなり、普段なら見られない時間や場所で行動しているかもしれません。



運転者の皆さん、道路上で子どもを見つけたら次のことに注意しましょう。

- 見つけた子どもの飛び出し
- その子どもの反対側にいるかもしれない子どもの飛び出し

子どもは、道路の反対側に友達や家族を見つけたときなど、周囲を確認せずそこへ行こうとすることがあります。その結果、飛び出しによる交通事故となってしまうのですが、これは子どもの特徴である「集中すると周りが見えなくなる」ということが原因なのかもしれません。



運転者の皆さんは、子どもを見つけたら「飛び出してくるかもしれない」ことを予測し、減速するなど注意をお願いします。

### 夜光反射材と自発光型ライトの併用で安全に！

夕暮れ夜間において、夜光反射材の他にライトを使用して歩いている人を見るようになりました。これは運転者から見て歩行者をいち早く発見するためにとても効果的です。

士別市交通安全教育隊「まもってあげ隊」は、交通安全教室で参加者に夜光反射材の配布をしました。平成29年度においては、夕暮れ夜間の外出は「最低でも夜光反射材！これからは自発光型のライト!!」とその推進を考えていたところ、ご賛同いただいた旭川地区トラック協会士別支部様が写真のライト500個を提供してくれました。(平成29年度教室にて配布済)



夕暮れ夜間に向け、ドライバーから認知できる距離は、黒っぽい服装は約30m・明るい服装でも約45m近づかなくては発見できないと言われていています。夜光反射材なら約80m・自発光型のライトならもっと離れていても発見することができます。

